

技術分野分類 1303：リハビリテーション科学・福祉工学

技術キーワード Q：ユニバーサルデザイン

産業分類 E-30：情報通信機械器具製造業

内 容	概要	日本人男性の5%という比率の色弱者に対する配慮を進めるために、色弱者の色の見分けにくさを下図のようにコンピュータディスプレイ上に再現する技術
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	近年、類似の技術がいくつか開発されているが、ディスプレイの特性を考慮したうえで、色弱者による約1,000色の正当性を評価しているので変換精度が最も高い。 また、デザイン業界で標準的に使われているAdobeのイラストレータやフォトショップに搭載された技術で、世界標準としての優位性がある。
	本技術の有用性	色弱者の比率が高い割には隠している人が多く、誰にでも見やすいカラーユニバーサルデザインを普及させるには、色弱者の代替となるこのようなシミュレーション技術が不可欠である。
関連情報 (図・表・写真等)	 <p>オリジナルモード (一般色覚モード)    P型モード (第1色覚モード)    D型モード (第2色覚モード)    T型モード (第3色覚モード)</p> <p>画面上的アイコン</p>	
適用可能製品	画像を扱う各種装置・システムへの配色チェックの組み込み、精密色弱検査機器	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	前川満良 企画指導部・研究主幹
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	企画指導部 076-267-8081 / 076-267-8090 kikaku@irii.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年11月28日